

Crown English Communication II, p. 35.

Lesson 3**OOPARTS**

Some ⁽¹⁾discoveries just don't fit in with what we know. They are called "out-of-place artifacts" (OOPARTS). They seem to show that ancient people knew about modern technology.

—1 Ancient Egyptian aircraft

Did the ancient Egyptians understand the principles of flying? Some people believe that the "Saqqara Bird" shows that they did.

The Egyptian Saqqara Bird ⁽²⁾dates back to about 200 B.C. No one knows what it was made for. Perhaps it was a toy. Does the Saqqara Bird show that the Egyptians knew the principles of aviation? The Egyptians often placed models of actual artifacts in their ⁽³⁾tombs, so the Saqqara Bird could be a model of an actual airplane. Scientists tested a model based on its design and found that the Saqqara Bird could have flown.

Perhaps the Egyptians understood the principles of aviation a thousand years before the Saqqara Bird. In the ⁽⁴⁾Temple of Seti I, built around 1280 B.C., there is a hieroglyph showing what appears to be a helicopter. Where could the ancient Egyptians have learned about aircraft?

Crown English Communication II, p. 36.

—2 More aircraft

Several centuries after the Saqqara Bird, the Quimbaya civilization existed halfway across the world in what is now South America. The Quimbaya are ⁽¹⁾famous for their gold artifacts. One of these artifacts looks like an airplane.

The “airplane” is probably a model of an insect or a bird. But some people believe that a model built to this design could actually fly. In the 1990’s, a model of the Quimbaya airplane with an engine attached was able to ⁽²⁾get off the ground.

At about the same time and not very far away from the Quimbaya, the Mayan civilization existed. Some people think that the ancient Mayans knew about space ⁽³⁾travel.

They point to the tomb in which Pakal I is ⁽⁴⁾buried. He ruled the Mayans from A.D. 615 to 683. Pakal’s tomb seems to show him in a spaceship. It seems

Lesson 3—Section 2

(1) famous ㊦1, p. 688.

fa·mous /féiməs/ [->fame]

— ㊦ (more ~; most ~) 1 (人・物が) (多くの場所で多くの人々に) «…で/…として» (よい意味で) **有名な**, 著名な, 名高い «for/as» ▶ world famous figures 世界的な著名人たち/the rich and famous 富と名声のある人たち (㊦ 集合的に; 複数扱い)/be famous as a rival to Ichiro イチローの好敵手として有名である。

- 基本語として発信活動に使える表現を調べさせたい。語義 1 に導き、二重山形かっこで共に使われる前置詞(連語)が示されているので確認させる。「…で/…として」と表現する場合はそれぞれ«for/as»を使うと示されていることに注意させる。教科書本文が for を用いていることから、「彼らの金の工芸品で有名だ」という意味になることを理解させる
- 語義 1 に続く **語法のポイント** を参照させる。「…で有名だ」「…として知られている」と表現する場合、正しい表現には○、誤りやすい表現には×を付けて例文が示されているので確認させる。㊦の注記も併せてチェックさせる。

語法のポイント 奈良は古い寺が多いことで有名だ。
 × It is famous that Nara has many old temples.
 ○ Nara is famous for its many old temples.
 ○ It is well-known that Nara has many old temples.

語法のポイント 当所は釈迦(達磨)の生誕地として知られている。
 × This place is famous for the birthplace of Buddha.
 ○ This place is famous as the birthplace of Buddha.

㊦ for ... を用いるのは ... が主語に属しているもの場合。この例のように This place =the birthplace の関係が成り立つ場合は as。

- 語法のポイント** に続く **類義** には, famous とよく似た意味を表す語と, それぞれの違いについて説明されているので, 確認させるのもよい。

類義 famous と well-known, prominent など famous は「有名な」の意味の最も一般的な語。well-known は特にある場所によく知られていることをいう。prominent は《ややかたく・主に書》で、他より卓越しておりよく知られていること。celebrated は《書》で、芸術家・作品などが認知され注目されて有名なことで、皆からの敬愛・名誉を暗示する。distinguished は《主に書》で、専門家などがその職業で成功し尊敬・称賛を集めていること。eminent は《主に書》で、専門家・芸術家などがその分野で頂点にあると認識され、有名で尊敬されていること。notorious と infamous は悪いことで有名なことをいうが、後者は《かたく》で、不道德・邪悪さを強調し、より強意的。

(2) get ㊦成句 **get off [off of] A**, p. 804.

get off [óff of] A (㊦ ㊦㊦) (1), (2), (3), (4), (8) では off の後に of を伴うことがある (1) A (乗り物) から降りる (→ get on A) (㊦ ㊦㊦) バス・列車・飛行機・大型船・自転車・バイク・馬などに用いる; ↓ get out (1) **類義** ▶ get off the subway at Nihonbashi 日本橋で地下鉄を降りる。 (2) A (ベッド・テーブルなど) から離れる (㊦ 通例立ったり、座ったり、寝ている状態から地面に足を付けて移動することをいう) ▶ get off the bed [table] ベッド[テーブル]を離れる。 (3) 《話》[[命令形で; G-]] A にさわるな ▶ Get off me! 私にさわらないで。 (4) A (敷地など) から出てゆく、退去する; (飛行機などが) A (地面) から飛び立つ、飛び上がる。 (5) A (高い所) から降りる。 (6) A

- 多くの成句義があるので A に来る名詞の特徴を手掛かりに正しい意味に導く。共に使われる典型的な名詞を表す山形かっこ () に囲って、主語に来る名詞として(飛行機などが), A の位置に来る名詞として(地面) と示されている成句義(4)の後半をチェックさせ、教科書のこの部分が「地面から飛び立つ[離陸する]ことができた」と述べていることを理解させる。
- 成句見出しに、重要成句であることを示すアスタリスク(*)が付いているのに注意させる。生徒にもなじみのある成句義(1)をチェックさせて、「乗り物から降りる」という意味や辞書用例を確かめさせる。またどのような乗り物で使うのがが ㊦ ㊦㊦ の注記で示されているので確認させる。
- 成句義(1)の ㊦ 注記には、↓の参照で「下にある get out (1)の類義」を見よ」と記されているのでチェックさせるとよい。紙の辞書なら見開き隣のページにあり、すぐ確かめさせることができるので、get out of A, get off A などの違いについて確認させる。

類義 get out of A と get off A など 乗り物から降りる場合、乗用車やタクシーなど身をかがめて乗る車などから降りる場合は get out of を、バス・電車・バイク・自転車・エレベーター・エスカレーターなど立って乗る乗り物から降りるときは get off を用いるのが最も普通。一歩一歩の足取りに注目する際は step が、困難な姿勢に注目する際は climb が get の代わりに用いられることがある ▶ get out of [step out of] the car 車から降りる/get off [step off, get out of] the bus バスを降りる/climb out of the car with my son held out in front of me 息子を前に抱いて車を何とか降りる。

(3) travel ㊦ **1a**, p. 2022.

㊦ ㊦ (㊦ ~s /-z/) **1** (→trip 類義) **a** ㊦ (主に仕事・娯楽目的での長距離の) 旅行; [形容詞的に] 旅行(用)の (traveling) ▶travel to England 英国旅行 (×the travel to ... としない)/air [rail] travel 空[鉄道]の旅/travel books [insurance] 旅行の本[保険].

- 教科書本文で使われている space travel が「宇宙旅行」であると理解することは難しいことではないが、travel という語の特徴を理解させたい。教科書本文が不定冠詞を伴わず、複数形にもなっていないことから、不可算用法であることにまず注意させる。
- 不可算用法の語義 **1a** に導き、太字になっている辞書の第 2 用例をチェックさせる。「名詞+travel」の形(辞書では air+travel, rail+travel)がそれぞれ「…(の)旅行」という意味を表すことから、教科書本文が宇宙旅行(space travel)という意味であることを確認させる。
- 語義番号 **1** に続いて(→trip 類義)と記されているのに注意させる。trip の 類義 コラムを参照せよ、という意味であることを確かめさせる。紙の辞書なら数ページ先(p. 2029)なにですぐに調べさせることができるので、trip, tour, travel などのよく似た意味を表す語の違いを確認させる。

類義 trip と tour, travel, journey, voyage
 trip は距離の短い外出・旅行から長期の海外旅行まで幅広く用いられ、通例帰って来ることを暗示する。頻度・回数などを表す数詞とも相性がよい。tour は見学・視察目的で各地を巡り元の場所へ戻るような周遊旅行をいい、しばしば案内人を伴う。travel は ㊦ で、主に仕事・娯楽目的での長距離の旅行を漠然とさすが、㊦ の前で形容詞的に用いられることが多い。複数形は娯楽目的で海外など遠方の各地を訪れる一連の旅行を示す。journey は通例陸上の長距離・長時間の旅行を表し、必ずしも帰ることを暗示せず、(米)では文語的に響く。旅の過程に重点があり、時に苦勞・困難を伴うことを暗示し、しばしば人の心理状態を表すような ㊦ と共に用いられる。voyage は (主に書)で、海・宇宙の長い旅行をさし、時に運命的な旅であることを暗示する。

(4) bury, ㊦ **1a**, pp. 259–260.

bur·y* /béri/ (㊦ -u- は /e/; berry と同音)
 [語源は「覆い隠す」] ((名) burial)

㊦ (㊦ -ies /-z/; -ied /-d/; ~ing)

㊦ **1a** (人が) «…に» (死者)を埋葬する «in, at» (㊦ 火葬する cremate と違い、土葬すること) ▶Peter was buried in a grave in his hometown. ピーターは故郷の墓に埋葬された/Newton lies buried at Westminster. ニュートンはウエストミンスター寺院に葬られている。
b (やや古) (身内など)を失う、に先立たれる。

- 見出し語横に ㊦ を付して、-u-は/e/と読み、さらに berry と同じ発音である、と記されているので注意させる。
- 教科書本文が墓の話をしていることから語義 **1a** に導く。二重山形かっこで示された共に使われる前置詞をチェックさせて、「…に」と表現する場合は«in, at»を使うこと、教科書本文では in が使われた受け身の形になっていることを確かめさせる。
- 日本では通常の埋葬方法である「火葬」の場合は bury ではなく cremate を使うことが ㊦ を使った注記に示されているのでチェックさせる。

Crown English Communication II, p. 37.

that he is wearing a ⁽¹⁾mask, his hands are on some ⁽²⁾controls, and his left foot is on a pedal. Outside, you see a little flame, coming from what looks like a rocket engine.

How can we explain that the Quimbaya airplane looks like a modern plane and that Pakal's tomb looks like a spaceship?

(1) mask 図 1, p. 1182.

mask: /mæsk|mə:sk/ (1) masque と同音
 [語源は「道化師」; mascara と同源]
 1 図 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170) (171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192) (193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204) (205) (206) (207) (208) (209) (210) (211) (212) (213) (214) (215) (216) (217) (218) (219) (220) (221) (222) (223) (224) (225) (226) (227) (228) (229) (230) (231) (232) (233) (234) (235) (236) (237) (238) (239) (240) (241) (242) (243) (244) (245) (246) (247) (248) (249) (250) (251) (252) (253) (254) (255) (256) (257) (258) (259) (260) (261) (262) (263) (264) (265) (266) (267) (268) (269) (270) (271) (272) (273) (274) (275) (276) (277) (278) (279) (280) (281) (282) (283) (284) (285) (286) (287) (288) (289) (290) (291) (292) (293) (294) (295) (296) (297) (298) (299) (300) (301) (302) (303) (304) (305) (306) (307) (308) (309) (310) (311) (312) (313) (314) (315) (316) (317) (318) (319) (320) (321) (322) (323) (324) (325) (326) (327) (328) (329) (330) (331) (332) (333) (334) (335) (336) (337) (338) (339) (340) (341) (342) (343) (344) (345) (346) (347) (348) (349) (350) (351) (352) (353) (354) (355) (356) (357) (358) (359) (360) (361) (362) (363) (364) (365) (366) (367) (368) (369) (370) (371) (372) (373) (374) (375) (376) (377) (378) (379) (380) (381) (382) (383) (384) (385) (386) (387) (388) (389) (390) (391) (392) (393) (394) (395) (396) (397) (398) (399) (400) (401) (402) (403) (404) (405) (406) (407) (408) (409) (410) (411) (412) (413) (414) (415) (416) (417) (418) (419) (420) (421) (422) (423) (424) (425) (426) (427) (428) (429) (430) (431) (432) (433) (434) (435) (436) (437) (438) (439) (440) (441) (442) (443) (444) (445) (446) (447) (448) (449) (450) (451) (452) (453) (454) (455) (456) (457) (458) (459) (460) (461) (462) (463) (464) (465) (466) (467) (468) (469) (470) (471) (472) (473) (474) (475) (476) (477) (478) (479) (480) (481) (482) (483) (484) (485) (486) (487) (488) (489) (490) (491) (492) (493) (494) (495) (496) (497) (498) (499) (500) (501) (502) (503) (504) (505) (506) (507) (508) (509) (510) (511) (512) (513) (514) (515) (516) (517) (518) (519) (520) (521) (522) (523) (524) (525) (526) (527) (528) (529) (530) (531) (532) (533) (534) (535) (536) (537) (538) (539) (540) (541) (542) (543) (544) (545) (546) (547) (548) (549) (550) (551) (552) (553) (554) (555) (556) (557) (558) (559) (560) (561) (562) (563) (564) (565) (566) (567) (568) (569) (570) (571) (572) (573) (574) (575) (576) (577) (578) (579) (580) (581) (582) (583) (584) (585) (586) (587) (588) (589) (590) (591) (592) (593) (594) (595) (596) (597) (598) (599) (600) (601) (602) (603) (604) (605) (606) (607) (608) (609) (610) (611) (612) (613) (614) (615) (616) (617) (618) (619) (620) (621) (622) (623) (624) (625) (626) (627) (628) (629) (630) (631) (632) (633) (634) (635) (636) (637) (638) (639) (640) (641) (642) (643) (644) (645) (646) (647) (648) (649) (650) (651) (652) (653) (654) (655) (656) (657) (658) (659) (660) (661) (662) (663) (664) (665) (666) (667) (668) (669) (670) (671) (672) (673) (674) (675) (676) (677) (678) (679) (680) (681) (682) (683) (684) (685) (686) (687) (688) (689) (690) (691) (692) (693) (694) (695) (696) (697) (698) (699) (700) (701) (702) (703) (704) (705) (706) (707) (708) (709) (710) (711) (712) (713) (714) (715) (716) (717) (718) (719) (720) (721) (722) (723) (724) (725) (726) (727) (728) (729) (730) (731) (732) (733) (734) (735) (736) (737) (738) (739) (740) (741) (742) (743) (744) (745) (746) (747) (748) (749) (750) (751) (752) (753) (754) (755) (756) (757) (758) (759) (760) (761) (762) (763) (764) (765) (766) (767) (768) (769) (770) (771) (772) (773) (774) (775) (776) (777) (778) (779) (780) (781) (782) (783) (784) (785) (786) (787) (788) (789) (790) (791) (792) (793) (794) (795) (796) (797) (798) (799) (800) (801) (802) (803) (804) (805) (806) (807) (808) (809) (810) (811) (812) (813) (814) (815) (816) (817) (818) (819) (820) (821) (822) (823) (824) (825) (826) (827) (828) (829) (830) (831) (832) (833) (834) (835) (836) (837) (838) (839) (840) (841) (842) (843) (844) (845) (846) (847) (848) (849) (850) (851) (852) (853) (854) (855) (856) (857) (858) (859) (860) (861) (862) (863) (864) (865) (866) (867) (868) (869) (870) (871) (872) (873) (874) (875) (876) (877) (878) (879) (880) (881) (882) (883) (884) (885) (886) (887) (888) (889) (890) (891) (892) (893) (894) (895) (896) (897) (898) (899) (900) (901) (902) (903) (904) (905) (906) (907) (908) (909) (910) (911) (912) (913) (914) (915) (916) (917) (918) (919) (920) (921) (922) (923) (924) (925) (926) (927) (928) (929) (930) (931) (932) (933) (934) (935) (936) (937) (938) (939) (940) (941) (942) (943) (944) (945) (946) (947) (948) (949) (950) (951) (952) (953) (954) (955) (956) (957) (958) (959) (960) (961) (962) (963) (964) (965) (966) (967) (968) (969) (970) (971) (972) (973) (974) (975) (976) (977) (978) (979) (980) (981) (982) (983) (984) (985) (986) (987) (988) (989) (990) (991) (992) (993) (994) (995) (996) (997) (998) (999) (1000)

- 教科書本文と同じ wear a mask が辞書の第 1 用例になっている語義 1 を参照させる。「マスクをかぶっている[している]という状態を示す場合には wear を、「マスクをかぶる[する]という行為を示す場合には put on を用いることを確認させる。
- 辞書の第 3 用例をチェックさせて、「マスクをした…」という場合には ... in a mask と表現することを確認させる。mask のように、語の意味は生徒も問題なく理解できるような語でも、発信活動で使うには辞書の第 1, 第 3 用例のようなコロケーションを意識させることが大切。

(2) control 図 4, pp. 419–420.

con·trol: /kəntróul/ (1) 強勢は第 2 音節
 [語源は「権力で名簿を照合する」]((名) controller)
 1 図 (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170) (171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192) (193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204) (205) (206) (207) (208) (209) (210) (211) (212) (213) (214) (215) (216) (217) (218) (219) (220) (221) (222) (223) (224) (225) (226) (227) (228) (229) (230) (231) (232) (233) (234) (235) (236) (237) (238) (239) (240) (241) (242) (243) (244) (245) (246) (247) (248) (249) (250) (251) (252) (253) (254) (255) (256) (257) (258) (259) (260) (261) (262) (263) (264) (265) (266) (267) (268) (269) (270) (271) (272) (273) (274) (275) (276) (277) (278) (279) (280) (281) (282) (283) (284) (285) (286) (287) (288) (289) (290) (291) (292) (293) (294) (295) (296) (297) (298) (299) (300) (301) (302) (303) (304) (305) (306) (307) (308) (309) (310) (311) (312) (313) (314) (315) (316) (317) (318) (319) (320) (321) (322) (323) (324) (325) (326) (327) (328) (329) (330) (331) (332) (333) (334) (335) (336) (337) (338) (339) (340) (341) (342) (343) (344) (345) (346) (347) (348) (349) (350) (351) (352) (353) (354) (355) (356) (357) (358) (359) (360) (361) (362) (363) (364) (365) (366) (367) (368) (369) (370) (371) (372) (373) (374) (375) (376) (377) (378) (379) (380) (381) (382) (383) (384) (385) (386) (387) (388) (389) (390) (391) (392) (393) (394) (395) (396) (397) (398) (399) (400) (401) (402) (403) (404) (405) (406) (407) (408) (409) (410) (411) (412) (413) (414) (415) (416) (417) (418) (419) (420) (421) (422) (423) (424) (425) (426) (427) (428) (429) (430) (431) (432) (433) (434) (435) (436) (437) (438) (439) (440) (441) (442) (443) (444) (445) (446) (447) (448) (449) (450) (451) (452) (453) (454) (455) (456) (457) (458) (459) (460) (461) (462) (463) (464) (465) (466) (467) (468) (469) (470) (471) (472) (473) (474) (475) (476) (477) (478) (479) (480) (481) (482) (483) (484) (485) (486) (487) (488) (489) (490) (491) (492) (493) (494) (495) (496) (497) (498) (499) (500) (501) (502) (503) (504) (505) (506) (507) (508) (509) (510) (511) (512) (513) (514) (515) (516) (517) (518) (519) (520) (521) (522) (523) (524) (525) (526) (527) (528) (529) (530) (531) (532) (533) (534) (535) (536) (537) (538) (539) (540) (541) (542) (543) (544) (545) (546) (547) (548) (549) (550) (551) (552) (553) (554) (555) (556) (557) (558) (559) (560) (561) (562) (563) (564) (565) (566) (567) (568) (569) (570) (571) (572) (573) (574) (575) (576) (577) (578) (579) (580) (581) (582) (583) (584) (585) (586) (587) (588) (589) (590) (591) (592) (593) (594) (595) (596) (597) (598) (599) (600) (601) (602) (603) (604) (605) (606) (607) (608) (609) (610) (611) (612) (613) (614) (615) (616) (617) (618) (619) (620) (621) (622) (623) (624) (625) (626) (627) (628) (629) (630) (631) (632) (633) (634) (635) (636) (637) (638) (639) (640) (641) (642) (643) (644) (645) (646) (647) (648) (649) (650) (651) (652) (653) (654) (655) (656) (657) (658) (659) (660) (661) (662) (663) (664) (665) (666) (667) (668) (669) (670) (671) (672) (673) (674) (675) (676) (677) (678) (679) (680) (681) (682) (683) (684) (685) (686) (687) (688) (689) (690) (691) (692) (693) (694) (695) (696) (697) (698) (699) (700) (701) (702) (703) (704) (705) (706) (707) (708) (709) (710) (711) (712) (713) (714) (715) (716) (717) (718) (719) (720) (721) (722) (723) (724) (725) (726) (727) (728) (729) (730) (731) (732) (733) (734) (735) (736) (737) (738) (739) (740) (741) (742) (743) (744) (745) (746) (747) (748) (749) (750) (751) (752) (753) (754) (755) (756) (757) (758) (759) (760) (761) (762) (763) (764) (765) (766) (767) (768) (769) (770) (771) (772) (773) (774) (775) (776) (777) (778) (779) (780) (781) (782) (783) (784) (785) (786) (787) (788) (789) (790) (791) (792) (793) (794) (795) (796) (797) (798) (799) (800) (801) (802) (803) (804) (805) (806) (807) (808) (809) (810) (811) (812) (813) (814) (815) (816) (817) (818) (819) (820) (821) (822) (823) (824) (825) (826) (827) (828) (829) (830) (831) (832) (833) (834) (835) (836) (837) (838) (839) (840) (841) (842) (843) (844) (845) (846) (847) (848) (849) (850) (851) (852) (853) (854) (855) (856) (857) (858) (859) (860) (861) (862) (863) (864) (865) (866) (867) (868) (869) (870) (871) (872) (873) (874) (875) (876) (877) (878) (879) (880) (881) (882) (883) (884) (885) (886) (887) (888) (889) (890) (891) (892) (893) (894) (895) (896) (897) (898) (899) (900) (901) (902) (903) (904) (905) (906) (907) (908) (909) (910) (911) (912) (913) (914) (915) (916) (917) (918) (919) (920) (921) (922) (923) (924) (925) (926) (927) (928) (929) (930) (931) (932) (933) (934) (935) (936) (937) (938) (939) (940) (941) (942) (943) (944) (945) (946) (947) (948) (949) (950) (951) (952) (953) (954) (955) (956) (957) (958) (959) (960) (961) (962) (963) (964) (965) (966) (967) (968) (969) (970) (971) (972) (973) (974) (975) (976) (977) (978) (979) (980) (981) (982) (983) (984) (985) (986) (987) (988) (989) (990) (991) (992) (993) (994) (995) (996) (997) (998) (999) (1000)

- 教科書本文が controls と複数形になっていることを確かめさせる。㊦のロゴを頼りに名詞の語義の中から可算用法の語義をチェックさせる。教科書のこの部分が「彼(=バカル)が宇宙船の中にいるのを示しているようだ」と述べていることから語義 4 に導く。
- 語義 4 の[[通例～s]]という用法指示が教科書本文と合っていることを確かめさせる。正しい語義にたどり着くためには、意味と形との連動が大切であることを意識させたい。

Crown English Communication II, p. 38.

—3 Big Circles of the Middle East

In the 1920's, some strange circles were found in the desert of Jordan. (1)Recently, scientists used satellites to take photographs of some of these strange artifacts. They are now called the Big Circles of the Middle East. (2)According to some people, they are so large that they could only have been created if they had been planned from high in the sky. Twelve circles have been found in Jordan, one in Syria and two in Turkey.

These big circles are low walls made of stone. While (3)some are a meter high, others are only a few centimeters tall. They are about 400 meters in

Lesson 3 – Section 3

(1) recently ㉮ 1, p. 1566.

re-cent-ly /ri:s(ə)ntli/ [-→recent]

— ㉮ (more ~; most ~) [[文中・文頭・文尾で]] (→now 読解のポイント) 1 (近い過去の時点を示して) 最近, このあいだ, 用法では lately より普通; [[過分]の前で] 最近(...された) ▶ They (have) recently moved to Tokyo. 彼らは最近東京に引っ越した/I didn't know that until [[まれ] till] very [quite] recently. つい最近までそのことを知らなかった (㉮ コーパス) lately では until, till との連語は (まれ)/ We have only [just] recently got some money. 我々はいくらか最近金を得た (↓ コーパスの窓 (1), (2))/ as recently as the 90s 90年代(ほどの最近)になっても/ according to a recently released report 最近公表の報告によると.

コーパスの窓 recently の用法

(1) recently と時制 通例過去形で用いるが, 現在への影響を意識するときは時に現在完了形でも用いる (↑ 第 1, 3 例). また過去における2つの出来事の順序を意識したり, 時制の一致 (→ would 1 [文法] で [比較的まれ] に過去完了形と用いられることがある ▶ They had recently moved to Tokyo. (その時点で) 彼らは少し前に東京に引っ越していた. 進行途中の状況にふれるとき (まれ) に過去[現在]進行形と用いられることがある ▶ He is only recently becoming aware of its importance. 彼はつい最近になってその重要性に気づき始めている. 現在形と用いるときは these days や nowadays を用いるのが普通だが, 完了状態を表す be married, be divorced, be deceased などは現在形で recently と用いることがある ▶ His father is recently deceased. 彼の父は先ごろ亡くなった.

(2) only [just] recently it is ... that ... 構文 (→ it ㉮ 9) の焦点となるときは only recently を用いる方が普通 ▶ It's only [×just] recently that we've got some money. 我々がいくらか金を得たのはつい最近のことだ.

2 (現在までの近い過去の期間をさして)(ここ)最近, 近ごろ, このところ (㉮ (1) 通例現在完了(進行)形で, 時に過去完了(進行)形で用いる; ↓ 語法). (2) lately より短期の場合に好まれる ▶ I haven't seen my cousin recently. このところいここ会っていない/ Recently I've been thinking seriously about going to college. 最近大学進学を真剣に考えている.

- 教科書本文の時制が過去形であることを確かめさせる。語義 1 の ㉮ 注記で「時制については ↓ コーパスの窓(1)」と記されているので, 下にある コーパスの窓 のコラムを参照させ, 冒頭に「通例時制は過去形」と説明されているのをチェックさせる。語義 2 の ㉮ 注記には, 時制が「通例現在完了(進行)形」と説明されていることから, 教科書本文は語義 1 の意味で使われていることを確認させる。
- 語義番号の直後, 訳語の前に(近い過去の時点を示して)と補足説明があるのに注意させる。教科書本文が「最近, 科学者たちはこれらの奇妙な人工物のいくつかの写真を撮るために衛星を使った」と述べていることを確かめさせる。

(2) according ㉮ 成句 according to A, p. 16.

ac-cord-ing /əkɔ:rdɪŋ/ [-→accord]

— ㉮ (比較なし) (㉮ 1 次の成句で).

accord-ing as A * (かたく) [[接続詞的に]] A に応じて: A 次第で (㉮ A は節) ▶ Prices go up according as demand increases. 需要が増すにつれて価格は上がる.

accord-ing to A * [[前置詞的に]] (1) [[情報源]] (かたく) (報告・調査・人などの情報源を示して) A によれば (㉮ (1) 通例文頭, コマで区切って文尾・文中で. (2) 情報源は権威のあるものと見なされることが多い) ▶ according to the WHO report 世界保健機関の報告によると/ according to Dr. Smith [×Dr. Smith's opinion] スミス博士の見解では (= (話) Dr. Smith says ...).

- 頻出成句なのでしっかりと用法を確認させたい。㉮ のロゴに続き(比較なし)と記されていることから, 比較変化をしない副詞であること, また(㉮ 2 次の成句で)と記されていることから, 成句で用いられる語であることを確かめさせて成句を探させる。
- 重要成句を示すアスタリスク(*)がついているのに注意させる。教科書本文では A の部分が some people であることを確認させる。[[]] で囲って[[情報源]]と大まかな意味が記されていることと, 成句訳語の前に(報告・調査・人などの情報源を示して)と訳語の補足説明があることから, 成句義(1)をチェックさせる。
- 成句の第 2 用例を参照させて, 「…の見解によれば」という場合には opinion は用いないことが × で示されているので注意させる。
- さらに, 用例に続く 語法のポイント では自分の意見を述べる場合ではなく, 第三者の意見を紹介する時に用いることが説明されているので確認させる。

語法のポイント 私の見解では

× according to me [my opinion]

○ in my opinion; I think

㉮ according to は第三者の意見を紹介する時に用い, 話者自身の意見を述べる時には用いない。

(3) some ㊦ 2, p. 1801.

2 ある人たち, ある物, ある部分 (㊦しばしば後続する others, all と呼応して用いる; ↑㊦2) ▶Some arrived early. なかには早く到着した人たちもいた/Some are rich; others [some] are poor. 金持ちもいれば貧しい者もいる.

- ・ 教科書本文では some 単独で主語になっていることから, 代名詞であることを確かめさせる。While で結ばれた文が others で始まっていることから, (㊦)しばしば後続する others, all と呼応して用いる; ↑㊦2)の注記がある語義 **2** に導く。
- ・ 辞書の第 2 用例を参照させ, 教科書本文が「1 メートルの高さのものもあれば, わずか数センチの高さのものもある」と述べていることを確かめさせる。
- ・ ㊦注記には「↑㊦2」と形容詞の語義 **2** への参照指示もあるので確かめさせる。辞書の第 2 用例は, 教科書本文と同じく while others を使った用例になっているので, チェックさせる。教科書 41 ページ 19-21 行目には, この形容詞を使った用法が出てくるので, どちらの品詞にも同様の対比の用法があることを確認させるよい。

2 /sʌm/ ㊦名詞複数形または ㊦名詞の前で (集団・種類の中の)ある一部の, なかには…な人[物]もある (㊦しばしば後続する some, (the) others, all などと呼応し, 他者と対照される; 対比の詳細は →on the other HAND ㊦語解のポイント) ▶Some people (♂) like that sort of movie (♀); some (♂) don't (♀). そういう映画が好きな人もいるが嫌いな人もいる / Some people are punctual while others don't worry about being late. 時間をきちんと守る人もいれば遅刻を気にしない人もいる (㊦the others の場合は「残りの人[物]すべて」)/I like some music. 私はどんなものでもというわけではないが音楽は好きだ/I can't eat some types of cheese. 私は一部の種類のチーズは食べられない (㊦複数形で種類を暗示できる場合は types [kinds] of は省略可能: I don't eat some foods. 私は一部の種類の食べ物は食べない).

Crown English Communication II, p. 39.

diameter and almost perfectly round. ⁽¹⁾Material found in and around some of the circles dates them between 4500 to 2000 B.C. It appears that others were built during the Roman period, ⁽²⁾up to the 7th century.

No one knows for sure what the purpose of these circles could have been, or how they were built. Because they are low and lack ⁽³⁾openings, it is believed that they were not used for keeping animals. The near perfection of the circles would have required careful planning, maybe even from the air. How did they get there?

(1) material 図 2, p. 1186.

ma·te·ri·al* /mə'tiəriəl/
 [matter (物質) ial (の)]
 ① 図 (◎) ~s /-z/ 1 図 [[種類では ㊦]] (衣類などの) 生地, 服地 ▶the cotton [polyester] *material* 綿[ポリエステル]地.
 2 図 [[種類では ㊦]] 原料, 材料, 素材 ▶*building materials* 建築材料/Oil is the raw *material* for nylon. 石油はナイロンの原料である.

- 教科書本文が不定冠詞を伴わず、複数形でもないことから、不可算名詞であることを確かめさせる。教科書本文が巨大な円形の話をしていることから、㊦のロゴが付いた名詞語義のうち、語義 2 がもっとも教科書のこの部分にふさわしいことを確かめさせる。
- 語義 2 の[[種類では㊦]]という用法指示に注意させる。辞書の第 1 用例が複数形になっていることを確かめさせて、「建築材料」といった具体的な原材料の種類を表す場合には可算用法になるが、教科書本文のように単に「原料, 材料」を示す場合は不可算用法となることを理解させる。
- 辞書の第 2 用例の raw material もよく用いられる句なので、チェックさせておくとよい。

(2) up 図 成句 up to A, p. 2076.

up to A* (1) A<数値など>まで, Aに達して ▶Our tent can sleep *up to* six people. 私たちのテントには6人まで寝られる。(2) A<時間・程度など>に至るまで(ずっと) (㊦) *up until* [till] Aは時間の継続を示す強意形; →until 類義 (2) ▶*up to now* 今まで(ずっと)/Read *up to* the end of chapter two. 第2章まで読みなさい。(3) ↑7 a. (4) (話) [[通例否定文・疑問文で] Aにかなう, 匹敵する, 届く ▶The team's performance *isn't up to* last year's. そのチームの仕上がりは昨年には及ばない。(5) (話) [[通例否定文・疑問文で] (精神的・肉体的に)Aをやれる[できる](ほどで) (㊦) Aは 図 (動名) ▶He's getting better, but he's *not up to* going back to work yet. 彼は元気になってきたが, まだ仕事に戻れるほどではない。(6) (くだけた話) A<悪事など>(に) (ひそかに)従事して; 計画して ▶What's the boss *up to* now? 上司は今度は何をたくらんでいるんだろう/I'm sure he's *up to no good*. あいつは悪事を企んでいるにちがいない。(7) = be up to A. (8) = be WELL¹ up in A.

- 教科書本文では up to がコンマに続いていることをチェックさせる。成句には be up to A と up to A が出ているが、教科書のこの部分で使われているのは up to A の方であることを確認させる。

be up to A* (1) «…するのは» A<人>次第である; A<人>の責任[仕事]である «to do»; 決めるのはAである ▶It's (all) [entirely, totally] *up to* you. 君に(すべて)任せます; (全部)君次第だ/It's *not up to* me to make the schedule. その計画を作るのは私の責任ではない (㊦) (㊦) wh 節や不定詞を従えることも可能: It's *up to* you *how* you spend your time. どう時間を過ごすかは君次第だ。(2) → 成句 be not up to MUCH.

- 教科書本文では時を表す表現 (the 7th century) が続いていることから、山形かっこくく)に囲った選択制限で、Aには〈時間・程度など〉が来ると示している成句義 (2)に導く。教科書のこの部分が「7世紀までさかのぼるローマ時代」という意味になることを確かめさせる。
- 重要成句を示すアステリスク(*)がついているのをチェックさせる。頻度の高い成句義(1)とその用例, 先ほどチェックさせた成句義(2)とその用例(時を表す第 1 用例と程度を表す第 2 用例)の両方を確認させる。

(3) opening 図 3, p. 1351.

o·pen·ing* /'ɒp(ə)nɪŋ/
 [→open]
 ① 図 (◎) ~s /-z/ 1 図 [[通例単数形で] «小説などの» 冒頭部分, 出だし, «学校などの» 始まり, 学期始め «of»; [チェス] 序盤; [法] 冒頭陳述; [株式] 寄り付き ▶the very *opening* of the script そのシナリオの書き出し/the *opening* of a new era 新しい時代の始まり.
 2 図 [[通例単数形で] 開業, 開通, 開店, こけら落とし ▶the *opening* of the museum 美術館の初開館.
 3 図 (光・物などの) 出入口, 通気口, 開口部, 穴, 割れ目; (服の)スリット ▶make an *opening* 穴を開ける.
 4 図 «…での/…に対する» 就職口, 欠員, 空き «at, in/for» ▶a job *opening* 就職口.

- 教科書本文が巨大な円形の話をしていることから語義 3 が一番ふさわしいことを確認させ、教科書のこの部分が「出入口がない」と述べていることを確かめさせる。
- カタカナ語の「オープニング」から類推しやすい語義 1, 2 だけでなく、教科書のこの部分で使われている語義 3 や、続く語義 4 もビジネスの場面で頻出するのでそれぞれ意味と用法を確認させるとよい。

Crown English Communication II, p. 40.

－4 More mysterious ⁽¹⁾drawings

The Big Circles of the Middle East are not the only mysterious drawings. In the same area and at about the same time as the Quimbaya and Mayan civilizations, the Peruvians created the Nasca Lines: drawings of birds and animals so large that you can only see them clearly from the air. Like the Big Circles, some believe they couldn't have been created without the help of an aerial view. ⁽²⁾Why go to the ⁽³⁾trouble to make them if they can only be seen from an aircraft or spaceship?

Lesson 3—Section 4

(1) drawing 図 1, p. 574.

draw·ing* /drɔ:ɪŋ/ [→draw]

— 図 (㊟ ~s /-z/) 1 ㊟ (線で描いた) 絵, デッサン, 線画 (鉛筆・ペンなどを使用; → painting) ▶ do a pencil drawing of oneself 鉛筆で自画像をスケッチする/make a rough drawing 下絵を描く. 2 ㊟ (線で) 絵を描くこと; 製図 ▶ You have no talent for drawing. 君には絵の才能がない. 3 ㊟ 引くこと; (金銭の)引き出し; (手形の)振り出し. 4 ㊟ (米)くじ引き, 抽選(会).

- 教科書本文が複数形になっていることから可算用法を調べさせる。教科書のこの部分がナスカの地上絵の話をしていることから語義 1 に導く。
- ()に記された意味の補足説明から、「絵」の中でも「線で描いた絵」を示すことをチェックさせる。(鉛筆・ペンなどを使用…)という百科注記も確認させる。
- 語義 1 と語義 2 を比較させて、数えられる場合は「具体的な絵」を、数えられない場合は「(線で)絵を描くという行為」を表すことをチェックさせて、可算・不可算用法を区別する大まかな概念を理解させるとよい。

(2) why ㊟ 1d, p. 2162.

d [Why do...?] (不必要・無意味であることを訴えて)なぜ…する(必要がある)のか ▶ Why get upset just because I forgot your birthday? 君の誕生日を忘れたからって、なんで目くじら立てる(必要がある)の/Why buy a new watch? This one's still fine. どうして新しい時計を買うの。この時計まだ使えるよ。

- 教科書本文が Why go ... と why に動詞がすぐに続いていることから [Why do...?] の文型表示のある語義 1d に導く。
- 意味を確認させ、さらに()に囲って示された意味の補足説明にも注意させる。教科書本文が「なぜ(必要もないのに)…するのだろう」という意味になることを確かめさせる。

(3) trouble 図 1b, p. 2031.

b 面倒なこと, 手間, 骨折り, 努力; [have trouble (in) doing] …するのに苦労する ▶ Naoto had (a lot of) [didn't have much] trouble finding his key. 直人は鍵を探すのに(とても)苦労した[あまり苦労しなかった] (㊟ have no trouble doing は「楽に…する」)/They never give me any trouble. 彼らは決して私に面倒をかけない/She took the trouble to arrange the flowers for the party. 彼女はパーティのためわざわざ花を生けてくれた/You don't need to go to all this trouble. こんなにしていたかなくてもよろしいのに (㊟ go to the trouble [of doing [to do]] は「わざわざ…する」)/Thanks [Sorry] for your trouble. (話) わざわざありがとうございます[すみません]/(It's) no trouble (at all). (話) ちっともかまいません; (お礼の言葉として) どういたしまして/be more trouble than it's worth (話) 苦労した割には大した成果がない[得るものがない].

- 教科書欄外に go to the trouble to ~ ⇨ take the trouble to ~ と記されているのをチェックさせる。辞書の第 3 用例が take the trouble to ~ の形になっている語義 1b に導き、教科書のこの部分では trouble が「面倒なこと, 手間, 骨折り」といった意味で使われていることを確認させる。
- 第 3 用例の用例訳から take the trouble to ~ が「わざわざ～する」を意味することを確かめさせる。同じような意味や形で使われている辞書の第 4 用例をチェックさせる。用例訳に続く ㊟ の注記に、教科書本文と同じ go to the trouble to ~ の説明が出ているので参照させる。(2) の why の意味と合わせて、教科書のこの部分が「航空機や宇宙船からのみ見ることができるといふのに、なぜわざわざそれらを描くのだろう」という意味になることを理解させる。

Crown English Communication II, p. 41.

If a hieroglyph looks like a helicopter and a tomb looks like a spaceship, that is a matter of interpreting a picture. But the Saqqara Bird and the Quimbaya airplane really could have flown. And the Big Circles and Nasca Lines really appear to be difficult to build without an aerial view. How can we explain these ⁽¹⁾mysteries?

Some people jump to conclusions and say that ancient people were visited by ⁽²⁾aliens. Other people say that OOPARTS are all fakes.

No matter what position we take, we have to ⁽³⁾admit that there are mysteries which simply cannot be explained at the present time. Perhaps we should keep our minds open. As Einstein believed, the mysterious is “the source of all true art and science.”

(1) mystery 図 1, p. 1265.

mys·ter·y* /mɪst(ə)ri/ [語源は「秘密の儀式」]
((形) mysterious)

— 図 (㊟-ies /-z/) 1 ㊟ (具体的な個々の) 謎, 不可解な物[事]; [形容詞的に] (その実体がわからず) 謎の(人・物) ▶ an *unsolved mystery* 未解決の謎/The universe remains a great [deep] *mystery*. 宇宙は依然大きな[深い]謎のままだ/Why she doesn't marry is a *mystery* to me. ≙ *It's a mystery* to me why なぜ彼女が結婚しないか私には謎です/solve the *mystery* of [the pyramids [what happened to the town] ピラミッドの[その町に何が]あったか]謎を解く/a *mystery* man 謎の男 (≙ a mysterious man).

- 教科書本文が複数形になっていることから、㊟のロゴがついた可算名詞の語義を探させる。教科書のこの章のテーマは古代人の残した不可思議な遺産であることから、もっともふさわしい語義 1 に導く。
- 語義 1 と語義 2 を比較させて、具体的な謎の遺産についていうときは可算に、漠然とした謎や不思議さという概念についていうときには不可算になることを理解させる。英語の可算・不可算を区別する原則のひとつとして覚えさせるとよい。
- 見出し語の右横に派生語として((形)mysterious)と記されているのに注意させる。教科書前ページの新出単語 mysterious は mystery から派生した語であることを確かめさせる。紙の辞書なら 2 つ上に見出し語 mysterious があり、すぐに参照させることができるので、形容詞の項目も確認させる。

mys·te·ri·ous* /mɪstəriəs/ (㊟強勢は第2音節)
[→mystery]

— 形 (more ~; most ~) 1 (物・事が) 不可解な, 不思議な ▶ a *mysterious* power [accident] 不思議[不可解]な力[事故]/die in *mysterious* circumstances 不可解な状況で死ぬ/His behavior is quite *mysterious* to me. 彼の行動は私にはまったく不可解だ。

(2) alien 図 2, p. 52.

— 図 ㊟ 1 [法] (公民権を得ていない) 居留外国人; 外国人 (→foreigner) ▶ *illegal aliens* 不法在留外国人.
2 地球外生命体, 宇宙人, エイリアン.
3 [生態] 帰化植物[動物], 外来種.

- 前置詞に続いて複数形になっていることから、名詞の項目を参照させる。語義 2 の「地球外生命体, 宇宙人, エイリアン」が教科書のこの部分にもっともふさわしいことを確認させる。
- 語義 1, 3 に [] (二重亀甲) に囲ってそれぞれ[法], [生態]と記されているのをチェックさせる。このかっこは専門分野で使われる用語を示していることに注意させて、語義 1 の「外国人」という意味は主に法律用語で、語義 3 の「帰化植物[動物], 外来種」は生態学の用語であることを確認させる。

(3) admit ㊟ 1b, p. 30.

b [admit (to A) (that) 節/doing] (人が) (しるしる) …という[…した]ことを(A (人などに)認める (㊟that 節の方が普通) ▶ He *admitted* to himself *that* he was still attracted to her. 彼はまだ彼女にひかれていたことを自認した/I *have to* [must] *admit* (that) I was wrong. 恥ずかしながら、僕が間違っていたよ/The company *admitted* *breaking* [having broken] the law. その会社は法を犯したことを認めた/It *must* [has to] *be admitted* that (かたく) …ということが認められなければならない。

- 教科書本文で admit に続いて that 節が用いられていることを確かめさせ、[admit (to A) (that) 節/doing] の文型表示がある語義 1b に導く。() は省略可能な要素を、/ (スラッシュ) は交代可能な要素を表していることを確認させて、教科書本文では「人などに」を表す to A は示されていない形であることを理解させる。
- 辞書の第 2 用例が教科書本文と同じ have to admit that ... を用いているので参照させて、教科書のこの部分が「私たちは、現時点においてすべての謎を説明できるわけではないことを認めざるを得ない」と述べていることを理解させる。用例が太字になっているので、よく使われる句であることにも注意させる。